

東北大学附属図書館報

木這子

BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

—木這子（きばこ）とは東北地方の方言で、こけしのこと。小芥子這子（こけしほうこ）—

特集 東北大学附属図書館新館（2号館）完成

目 次

◦当面する諸問題		◦平成元年度文部省指定高額図書	
一附属図書館新館開館にあたって	2	（大型コレクション）について	19
◦新館の現況・施設概況	4	◦会議	19
◦新館の施設・備品（写真）	5	◦研修・講習	20
◦新館の平面図	6	◦附属図書館商議会構成名簿	21
◦附属図書館新館完成披露式典挙行	8	◦第21回国立大学図書館東北地区協議会	21
◦北青葉山分館長に就任するにあたって	12	◦第18回外国雑誌センター館会議・同	
◦分館長就任にあたって	13	打合せ会議	22
◦数字さまざま		◦平成元年度病院図書室職員研修会報告	22
一レファレンス・デスクより	14	◦人事異動	26
◦記念資料室だより	17	◦組織変更	27
◦平成元年度特別図書購入報告	18	◦編集後記	28



新館全景

**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

れておりません。今後関係当局のご理解を切望するものであります。

以上、大学図書館の当面する問題を申上げましたが、図書館業務である資料のサービスと管理は、

利用者の声に基づいて行なわれます。今後とも建設的なご意見をお寄せ下さるようお願い申し上げます。

新館の現況

開館時間

平 日 午前9時—午後4時30分

土曜日 閉館

閉館日

日曜日、国民の祝日

本学の卒業式当日

本学の創立記念日（6月22日）

年末年始（12月28日—翌年1月4日）

館長が必要と認めた日

利用対象者数（平成2年5月1日現在）

学部学生 11,151名

大学院生 2,809名

教職員 5,276名

閲覧座席数

176席

蔵書数（平成2年3月31日現在）

和雑誌 82,025冊

洋雑誌 68,450冊

国連・OECD・EC資料 8,900冊

新聞（オリジナル・縮冊版） 15,775冊

旧二高・仙台工専蔵書 25,620冊

個人文庫 16,800冊

その他 82,430冊

年間受入タイトル数（平成元年度）

和雑誌 5,820種

洋雑誌 3,979種

収容可能冊数

約50万冊

新館の施設概要

階	室等名	面積	席数	書架棚数
一 階	逐次刊行物掛	68.93		
	書架・閲覧部分	611.94	28	4,204
	カウンター・ホール	223.62	8	
	準貴重書庫	130.125		1,410
二 階	雑誌整理室(1)	49.92		
	システム研修室	54.6		
	ゼミナール室(2室)	94.38	22	
	書架・閲覧部分	840.36	56	4,068
三 階	視聴覚室	54.6	6	
	研究個室(3室)	34.98	3	
	雑誌整理室(2)	49.92		
	古文書整理室	54.6		
四 階	ゼミナール室(2室)	94.38	22	
	書架・閲覧部分	856.8	56	4,068
	視聴覚室	48.6	10	
	研究個室(3室)	34.98	3	
ラウンジ	マイクロ資料室	104.52		
	大會議室	171.34	90	
	貴重書展示室	164.22		
	書架・閲覧部分	507.6	28	2,340
貴重書庫	105.18			490

閲覧席



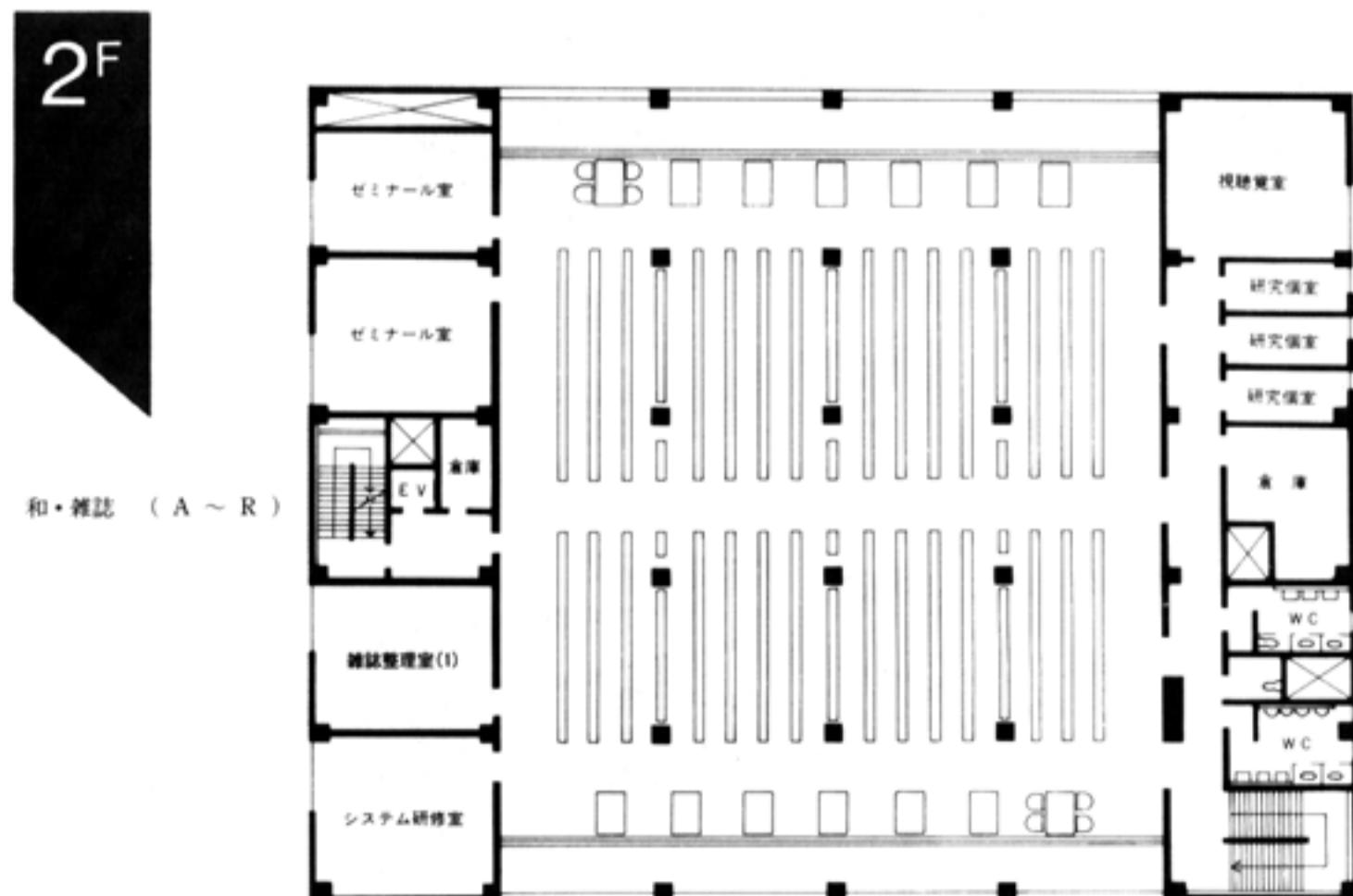
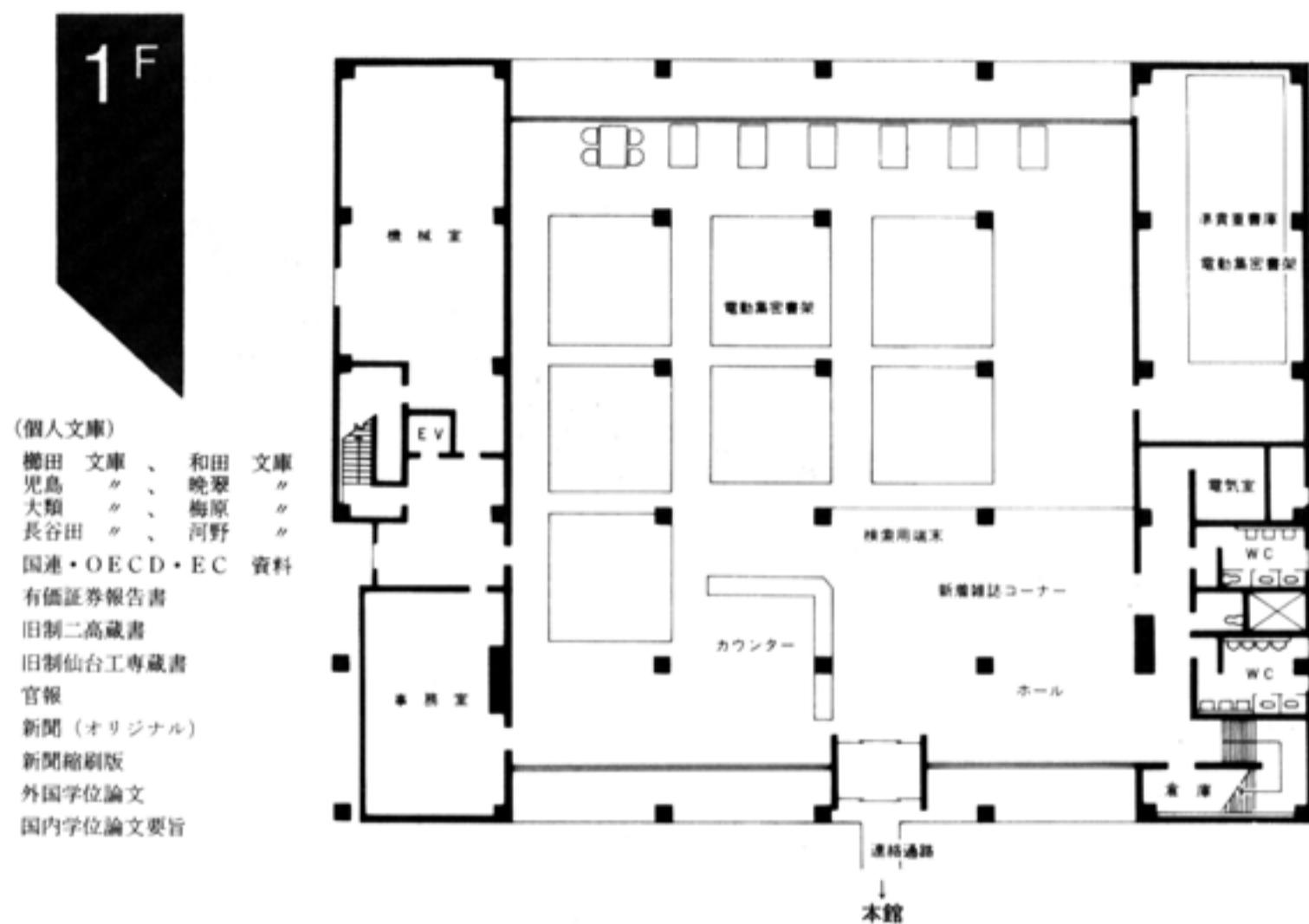
書架



ゼミナール室



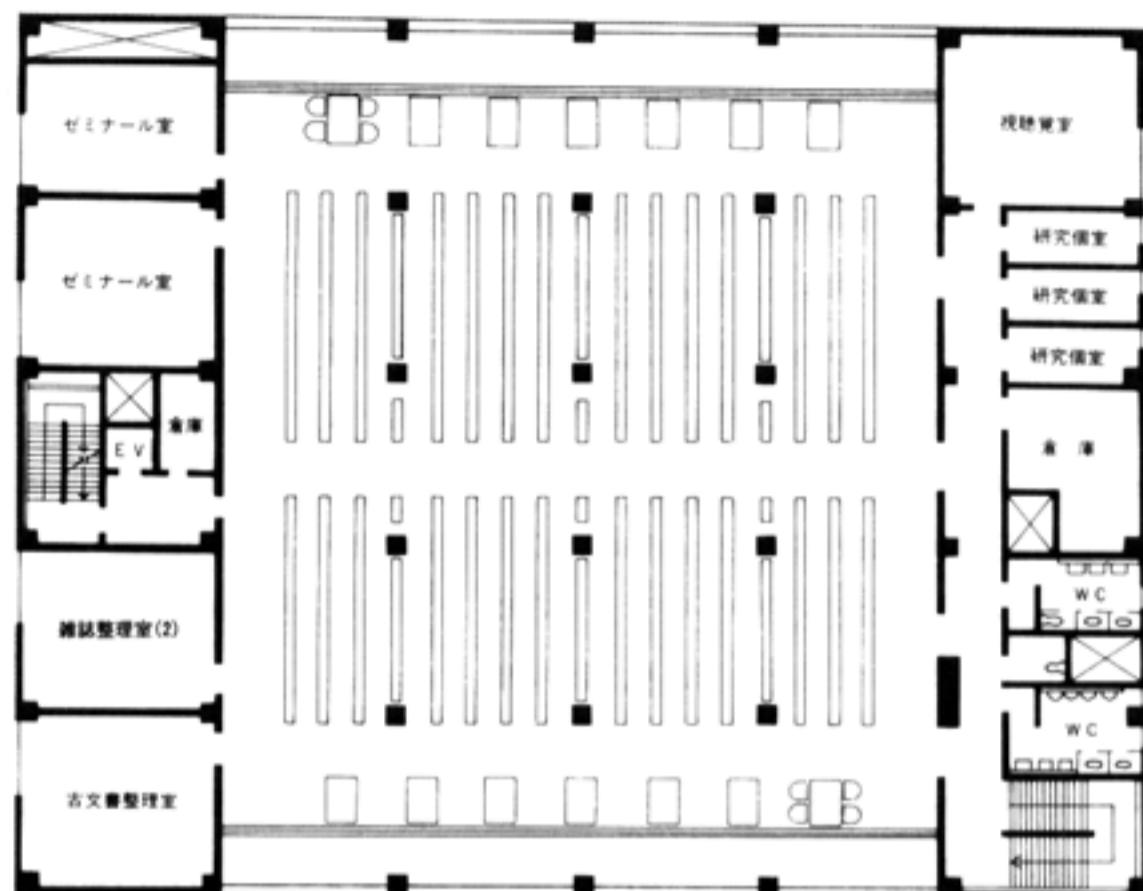
新館の平面図



3F

洋・雑誌 (A ~ M)

和・雑誌 (S ~ Z)



4F

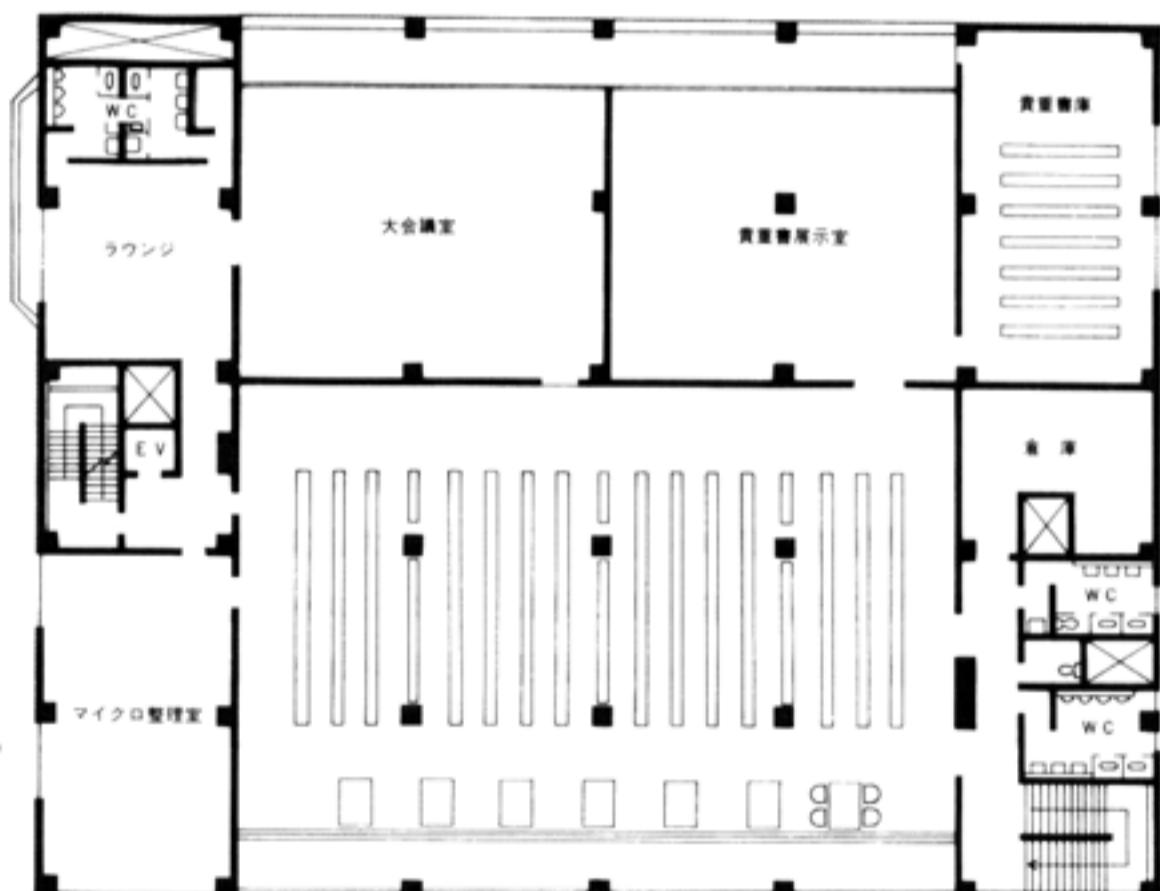
漱石文庫

狩野文庫(別置本)

キリル誌

大型雑誌

洋・雑誌 (N ~ Z)



**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

理想に近付けようとする努力が望ましいとは言い難い面があります。この出版洪水の今日、冊数の多いことより、ある専門範囲を出来るだけ少ない点数でカバーする眼力・見識が大学では問われるのではないでしょか。この意味で、選定は研究そのものの一環であり、工学分館の精選された図書目録は、譬えていえば、蚕の繭なのです。工学分館の使命のもっとも困難かつ重要な部分は、工学部全体の叡知と研鑽によって支えられているという当然の事実の再認識は大切だと思います。

一方、内容的にも地域的にも網羅的な学術情報

ネットワークの充実が研究図書館機能に不可欠であるのは言うまでもありませんが、中でも将来的に重要なのは、より能動的な学術情報発信の工学基地、そして世界に開いた工学部の窓としての役割であります。その昔、一本の木蓮子をつれた在外研究の旅にあって、図書館の書架で東北大工学報告に巡り合えた感動は今も鮮やかです。その21世紀版をどう実現するかです。この工学分館についての草の根から覗いた雑感が、就任のご挨拶になるのか誠に心許ない処ですが、皆様のご指導、ご叱正を得る糸口となれば幸いです。

数字さまざま—レファレンス・デスクより

1. はじめに

本館参考調査掛における業務統計は、「東北大学附属図書館年次報告」や、高木掛員の数年に亘る詳細なレポート(注1)がある。本館には自然科学関係書が少ないにも拘らず、英語の理工系文献に関する調査が非常に多いのではないかと感じてきた。そこで既に報告されている利用者別、手段別などの統計とは異なる視点の数字をまとめてみた。言語別統計、主題別統計の2種である。これらは調査依頼件数ではなく、調査に要した資料についての数字である。気付いた点を述べてみたい。

2. 言語別統計 (表1参照)

①英語文献・事項の調査の割合が42.4%と高い。

用語の確認や文献収集の際、様々な英語の参考図書を使用するが、それらはここには数字としてでてこないことに注意せねばならない。従ってこれらをも合わせると英語の比重は更に増すことになる。

②英語、日本語以外の言語は10.7%。以下ドイツ語、フランス語、ロシア語の順である。ドイツ語、フランス語については、文書に

よる場合の方がカウンターで受け付けるよりも多いのに気付く。電話よりもデータが正確に伝えられるためであろう。一般に調査する側としては、文献に紹介されているデータそのものに接した方が好都合である。迅速かつ正確な情報を得るために、ファックスやイメージメールの利用が増加していくだろう。

③外国語は53.1%。

ここにはチェコ語等のあまりなじみでない諸言語も入っている。適当な日本語の辞典がない場合もあり、英語対訳辞書を使う事が多い。

④古典に関わる日本語は3.4%。

狩野文庫をはじめとする古典や古文書の内容にまで及ぶ場合もあり、これら資料への研修が必要である。

3. 主題別統計 (表2参照)

①自然科学の分野が34.8%で、全体の三分の一強を占める。

自然科学に関する調査がかなり多いのは、医学分館を除く全学のカードを所蔵している

ため、所蔵個所の問い合わせがくるからであろう。一方、本館にある1972年以前のカードは標目からのみ、又1973年以降の理工系カードはタイトルからしか探し難い。本館のカードすらも不備なのである。（全学の目録が週別に入力されれば、他部局からの問い合わせは減るであろう。しかし平成2年3月における全学の図書蔵書数は、約291万1,000冊（注2）、平成2年9月現在のT-LINESのデータは図書約10万3000件。参考調査掛がカードに頼らねばならないのが当分続くと思われる）従って、調査に入る前に書誌データのチェックが欠かせず、その確認のために様々なツールに当たることになる。特に会議報告やテクニカルレポートなどのいわゆる灰色文献は、一般に書誌が少ないとおり調査が面倒である。Science Citation Indexは医学分館、Chemical Abstractsが北青葉山分館、Government Reports Announcements & Indexが工学分館にあるといった具合に、自然科学における代表的な二次資料が本館にはない。今後も分館の協力やデータベースの利用を含めて、絶えず様々な調査方法を取り入れていかねばならないだろう。

②文書による場合は、歴史、文学の分野が多い。

本館は人文社会の蔵書が大半で、特に狩野文庫等著名な文庫を多く有していることから、これらに関するものが文書で、大学をはじめ各種機関や個人から問い合わせされるケースが多い。一方自然科学に関するものは11.8%と少ない。直接分館へ問い合わせられるからであろう。

③人物や団体の調査、新聞記事探し等の総記は、9.1%。

事項の確認には多数の資料をつき合わせる

ことが必要で、実質的にはここに出された件数よりも多くなることに注意せねばならない。キーワードから検索できるCD-ROMの有効活用を考慮したい。

4.まとめ

過去5年間で、参考調査件数は昭和59年度の約7,000件から63年度の1万2,000件へと激増ぶりを示している（注3）。業務量の急増に伴い、参考調査に要する資料も多種多様になってきており、T-LINESやNACSIS-IRの導入により端末による検索も加え、複雑な対応を迫られている。

本館は大学図書館であることから、外国語での文献調査が多いのは当然であろう。参考コーナーの語学辞典の充実を図り、掛員の言語センスのブラッシュアップが不可欠と思われる。主題別によれば自然科学が34.8%、利用者別によれば川内地区25.0%、川内地区以外が47.6%となっている（注4）。学内的にみれば、参考調査掛の仕事が川内地区に留まらず、広く大学全体を対象としていることを心せねばならない。本館のサービスは、東北大全体の情報センターとしての役割の一翼を担っていることが、以上のささやかな数字に示されているといえるのではないだろうか。

データは記録として残されたメモや文書にのみ基づいているので、不備な点も多い。また利用指導やクイック・レファレンスは含まれていない。短期間の数字を垣間みただけにすぎないので、長期にも試みてみたい。

（文責：及川）

注

- 注1 高木忠：学外利用者からの文献調査依頼「東北大附属図書館研究年報」22（1989）p. 202-222
- 注2 平成2年度大学図書館実態調査報告書
- 注3 「東北大附属図書館年次報告」昭和63年度 p. 49
- 注4 高木、op. cit., p. 220

(表1) 言語別統計

調査期間：1989. 3. 15—9. 14

言語別	受付別		カウンター		文書		合計		備考
	件	%	件	%	件	%	件	%	
英語	1,019	43.6	121	34.5	1,140	42.4			
日本語(現代)	1,100	47.0	70	20.0	1,170	43.5			
日本語(古典)	75	3.2	16	4.6	91	3.4			46.9%
ドイツ語	69	3.0	85	24.2	154	5.7			
フランス語	30	1.3	39	11.1	69	2.6			
ロシア語	16	0.7	14	4.0	30	1.1			
中国語	9	0.4	3	0.8	12	0.4			10.7%
その他 (スペイン7, ラテン5, イタリア4, ノルウェイ1, スウェーデン1, チェコ1, トルコ1)	20	0.9	(ラテン2, イタリア1)	3	0.8	29	0.9		
合計	2,338	100.0	351	100.0	2,689	100.0			

(表2) 主題別統計

調査期間：1989. 4. 15—9. 14

主題別	受付別			カウンター			文書			合計		
	件	%	小計	件	%	小計	件	%	小計	件	%	小計
人文科学	歴史	194	9.3	25.8%	70	20.6	55.1%	264	10.9	30.0%		
	哲学	66	3.1		39	11.5		105	4.3			
	心理	17	0.8		8	2.4		25	1.0			
	芸術	52	2.5		3	0.9		55	2.3			
	語学	57	2.7		13	3.8		70	2.9			
	文学	155	7.4		54	15.9		209	8.6			
社会科学	法学	108	5.2	25.4%	43	12.7	31.0%	151	6.2	26.1%		
	経済	221	10.6		18	5.3		239	9.8			
	社会	89	4.3		25	7.4		114	4.7			
	教育	111	5.3		19	5.6		130	5.4			
自然科学	理学	208	10.0	38.6%	6	1.8	11.8%	214	8.8	34.8%		
	工学	474	22.7		16	4.7		490	20.2			
	農学	56	2.7		6	1.8		62	2.6			
	医学	67	3.2		12	3.5		79	3.2			
総記	ジャーナリズム、 人物調査等	213	10.2		7	2.1		220	9.1			
合計		2,088	100.0		339	100.0		2,427	100.0			

記念資料室だより

東北大学記念資料室は、昭和38（1963）年、『東北大学五十年史』を編纂した時に収集した資料を中心に、大学公文書館・大学歴史博物館・大学史編纂室の3つの機能をもつものとして設立されました。このような施設は、全国の国立大学で、もっとも古いものです。当初は、その名通り、附属図書館の一室でしたが、現在は片平でもっともしゃれた洋風のたたずまいを見せてている建物（かつての附属図書館本館）の大部分をいただいている。平日の10時から4時まで（土曜は午前中、日祝日はお休み）にその2階を訪れれば（もちろん入場無料）、東北大学の80年余のあゆみがわかるような常設展示が見られます。旧制第二高等学校・仙台医学専門学校・仙台工業専門学校・宮城県女子専門学校など、のちに本学に包摂された学校の資料の展示と合わせることにより、宮城県における近代教育が、いや近代日本の高等教育をめぐる諸相が見えてきます。

では今回は、本室が所蔵する成績表について若干の紹介をいたしましょう。そのひとつは、第二高等学校（旧制第二高等学校のさらに前身）の「點数簿」という、明治20（1887）年から明治26（1893）年までここに在籍した生徒の成績を記した成績原簿です。そこには、のちに大蔵大臣になる井上準之助、高山樗牛（林次郎）、土井晩翠（林吉）などの名前が見られ、彼らの成績が各教科各学期ごとに記されています。この資料自体は、本室でもっとも古く貴重で、かつ大きい（広げた状態で、およそたて50cm・横1m）ため、常設展示とはなっていません。この原簿をもとに、学年成績を印刷した成績表をとりあえずは見てください（ぜひとも「點数簿」を見たいという方は、室員までお申し出ください）。「第二高等中學校一覧」によれば、その年の成績が百点満点で五十点に達しない科目が一科目以上ある場合や六十点に

達しない科目が三科目以上ある場合は落第という規定があり、「第二高等学校史」には、「至って厳密にして随って試験評点等も案外酷」、したがって「一方に偏すること無く一般によく出来ねばならず随分困難なる仕事なり」と記した高山の手紙の一節や、自分は数学と図画が苦手であったこと、そのこともあって文科に進学したこと、数学の勉強は多大の時間を費やされたが忍耐の習慣を得た、という土井の回顧談が記されています。成績表に見られる実際の成績とあいまって、この頃の彼らの姿、そして当時の高等教育の様子が鮮やかにうかびあがってくるような気がします。もうひとつ成績表といえば、仙台医学専門学校で学んだ魯迅（周樹人）の明治38（1905）年の成績表もあります（常設展示）。留学生の方はぜひいらしてください。自信がつくかもしれません。

記念資料室には、このほかにもたくさんの資料がありますし、また現在も資料収集活動を行なっています。スペース等の関係からすべての資料展示することができないのはやむをえないのですが、特に今後は、新たに寄贈されたものを整理がつき次第紹介する場を設けていきたいと思っています（といっても、最初は展示会とか目録作成とかいうような形ではなく、概要だけ、『木道子』のこのコーナーで紹介していくつもりです）。資料寄贈は先生方のご厚意による（強制ではない）という本室の資料収集の方針からも、このことは重要だと思います。また、今年の資料収集の重点目標のひとつである学生運動に関する時期の資料などの場合は特に、学生の側の資料を集めることも重要なように思います（学生の場合、資料の残存が難しいことは確かでしょうが）。今後、このようなこともふくめ、みなさまからいろいろご教示を得ながら、がんばっていきたいと思います。よろしくお願ひします。

平成元年度特別図書購入報告

特別購入図書（文部省配分）によって下記資料を購入し、本館に備え付けしましたので、ご利用下さい。

番号	資料名	出版形態	内容	備考
1	興猶堂全書 全21冊	オリジナル	朝鮮儒学史上の重要人物、興猶堂の主要な著作を集めたもの	
2	Philosophische Bibliothek. (哲學叢書) 70 vols.	オリジナル	哲学叢書(Felix Meiner社)はPhB版として知られる。古代ギリシャのプラトン、アリストテレスに始まってカント、ヘーゲルをへて今日に至る哲学者の著作を演習用に編纂したものである。	
3	Anzengruber, Ludwig. Samtliche Werke. 17 vols. (ルートヴィヒ・アンツエン グルーバー全集)	オリジナル	19世紀オーストリア文学研究の基本資料の一つ。	
4	The Works of the Reverend ane Learme of Isaac Watts. 6 vols. (アイザック・ワッツ全集)	リブリント	18世紀英國讃美歌作者、アイザック・ワッツの著作集。	
5	朝鮮事大・斥邪関係資料集 1-6。	オリジナル	李氏朝鮮の外交政策は小中華思想を根底におく。本資料集はその中華思想をめぐる事大主義と斥邪論関係の文献を収めている。	
6	實學思想叢書 星湖全書 1-7。 貞闇全集 上・下。 明南全集 1-3。	オリジナル	實學思想とは、17~18世紀李氏朝鮮において朱子学の虚学化を批判として登場した實學求是の学問である。本叢書は、この朝鮮實學上重要な18世紀前半の實學派の巨匠李、北学派の朴斎家、後期實學者の崔漢綺の全集を収める。	
7	Times Higher Education Supplement. Microfilm 34 reels. (タイムズ高等教育紙)	マイクロ フィルム	大学教育を中心とする内外のニュース、一般開放講座の案内、書評、論説等を内容とするタブロイド版週刊誌	
8	明治欧米見聞録集成 第Ⅰ期~第V期 全35冊	オリジナル	明治期に欧米各国を回覧した岩倉使節を除き、これまで閑却されていた多くの使節の見聞録を集め刊行したもの。	
9	Jourdan et Isambert: Recueil General de Anciennes Lois Françaises. (フランス古制定法集成)	オリジナル	フランス革命(1789年)までのフランス制定法を集成したもの。	
10	Creat Britain National and Local Directory. 1781-1816. Series. Part 1. (イギリス商工人名録)	マイクロ フィッシュ	イギリスの主要都市および農村工業地域に居住する商人、製造業者、地主等々の人名と具体的な職業名を記載した名鑑。	
11	Great Britain, Ordnance Sur- veyors Drawings. 1972-1825. (イギリス陸地測量原図集)	マイクロ フィルム	イギリス最初の陸地測量の原図集。当時の地勢、地形のほか、都市や集落及び土地利用の状況を把握することができる。	
12	Early English Books. STC II. Unit. 71-76. (近世初期英語印刷文献集成)	マイクロ フィルム	清教徒革命から王政復古にいたる期間(1641~1700年)の英国・英語初期刊本を豊富に収録。	STC IIは既蔵 STCIIは継続

平成元年度文部省指定高額図書（大型コレクション）について

平成元年度文部省指定高額図書（大型コレクション）として、次の資料を購入しましたのでご利用ください。

資料名	下総佐倉藩 堀田家文書 238 リール
出版形態	マイクロフィルム
内容	諸代大名堀田藩の藩政・幕政資料で、日産厚生会佐倉厚生園所堀田家文書のマイクロフィルム版である。

会議

● 学内

- | | |
|---|---|
| <p>4.27 第1回附属図書館商議会
報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 東北大学附属図書館事務部事務分掌規程の一部改正について (2) 東北大学附属図書館文献複写規程の一部改正について <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 増築に伴う本館・新館の運営体制について
一附属図書館商議会小委員会報告・その2— <p>6.20 第2回附属図書館商議会
報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成3年度概算要求項目について (2) 国立大学図書館協議会理事会について (3) 学術情報流通の拡大方策について (4) 和雑誌の購入価格について (5) 新館の利用状況について (6) 新館完成披露式典の実施について <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 附属図書館商議会小委員会報告について | <p>(2) 国立大学図書館と大学共同利用機関等との相互利用の実施について</p> <p>7.20 第3回附属図書館商議会
報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成2年度図書館運営費（共通経費）について (2) 平成2年度図書資料（大型コレクション）収書計画について (3) 国立大学図書館協議会総会について <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 附属図書館商議会小委員会報告について (2) 特定事項を検討するための専門委員会の設置について (3) 平成2年度図書資料費の配分について (4) 国立大学図書館と大学共同利用機関等との相互利用の実施について (5) 東北大学附属図書館本館利用規則、同細則の一部改正について |
|---|---|

● 学外 (本学を会場とする会議を含む)

4. 19~20 第21回国立大学図書館東北地区協議会
(宮城教育大学附属図書館) (弘前: 国民宿舎おおわに荘)
5. 17~18 第61回日本医学図書館協会総会
(愛知学院大学附属図書館歯学部分館)
6. 4 平成2年度国立大学附属図書館事務部課長会議
(東京医科歯科大学) (東北大学附属図書館)
6. 5 国立大学図書館協議会常務理事会
(東京大学附属図書館) (東北大学附属図書館)
6. 5 平成2年度国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会第2回 (東京大学附属図書館)
6. 6 国立大学図書館協議会理事会
(東京大学附属図書館) (名古屋大学附属図書館)
6. 14 第27回国公私立大学図書館協力委員会
(関西学院大学) (名古屋大学附属図書館)
6. 27~29 第37回国立大学図書館協議会総会
(熊本市産業文化会館) (東北地区)
8. 2~3 第17回医学図書館員セミナー
(KKR 加賀) (東北大学附属図書館医学分館)
8. 22~24 第25回医学図書館員研究集会
(コミュニティ嵯峨野) <予定を含む>
9. 20~21 第45回東北地区大学図書館協議会総会
-

研修・講習

7. 23~27 7. 30~8. 2
学術情報センター目録システム講習会
(地域講習会) (東北大学附属図書館)
平成3年 3月上旬 平成2年度病院図書室職員研修会
(東北大学附属図書館医学分館)
10. 26 平成2年度東北地区大学図書館協議会研修会
(秋田大学附属図書館) <予定を含む>
11. 6 平成2年度東北大学附属図書館総合研修会
(東北大学附属図書館)

附属図書館商議会構成名簿

平成2年4月1日現在

所 属	職 名	氏 名	任 期	所 属	職 名	氏 名	任 期
図書館	館 長	勾坂 駿		医学部	教 授	林 典夫	2.4.1~4.3.31
医学分館	分館長	櫻井 實		歯学部	教 授	本間 久夫	1.4.1~3.3.31
北青葉山 分館	分館長	鳥羽 良明		薬学部	教 授	金子 主悦	2.4.1~4.3.31
工学分館	分館長	箱守 京太郎		工学部	教 授	守田 徹	1.4.1~3.3.31
農学分館	分館長	山下 恭平		農学部	教 授	竹内 昭	1.4.1~3.3.31
	事 務	乗木 祐三		教養部	教 授	望月 望	2.4.1~4.3.31
	局 長			金研	教 授	藤森 啓安	1.4.1~3.3.31
遺生研	教 授	服部 勉	2.4.1~4.3.31	選研	教 授	秋葉 健一	2.4.1~4.3.31
文学部	教 授	杉山 晃一	1.10.1~3.3.31	抗研	教 授	田中 元直	1.4.1~3.3.31
教育学部	教 授	木村 力雄	1.4.1~3.3.31	科研	教 授	楠 默	2.4.1~4.3.31
法 学 部	教 授	阿部 純二	2.4.1~4.3.31	流体研	教 授	新岡 嵩	2.4.1~4.3.31
経済学部	教 授	上村 久雄	1.4.1~3.3.31	通研	教 授	澤田 康次	2.4.1~4.3.31
理 学 部	教 授	荻野 博	2.4.1~4.3.31	非水研	教 授	宝澤 光紀	1.4.1~3.3.31

第21回国立大学図書館東北地区協議会

第21回国立大学図書館東北地区協議会は、平成2年4月19日宮城教育大学附属図書館において開催された。当日は、国立大学図書館協議会理事会から付託された検討事項、来る6月27日から3日間熊本市で行われる第37回総会に東北地区から提出する議題、要望事項等について種々協議の結果、文部大臣に対する要望事項として、(1)学術情報システム高速ディジタル網(=学術情報ネットワーク)の全都道府県への拡張、(2)図書館資料費の増額の2件を、また、総会の分科会で検討する議題は、(1)週40時間勤務制の試行に伴う諸問題について、(2)高速ディジタル網(=学術情報ネットワーク)の全都道府県への拡張についての2件とした。

地区協議事項としては、(1)週40時間勤務制の試

行に伴う諸問題について一土曜日における勤務職員がこれまで以上に少なくなることから、利用者サービスの低下が懸念されるので、既に実施している大学の実情を中心に意見交換を行った。(2)高速ディジタル網(=学術情報ネットワーク)の全都道府県への拡張について各大学が当該回線を利用できるようになれば、文献複写等の送受信が廉価かつ高速で行うことができ、研究教育に寄与するところ大であるので、これらの一層の推進を要望していくこととした。

また、平成2年度東北地区理事候補館として、岩手大学(第一部会)及び東北大(第二部会)が選出された。なお、地区連絡館は東北大が引き続き担当することとなった。

第18回国雑誌センター館会議・同打合せ会議報告

標記2会議が東京工業大学附属図書館のお世話によって、同大学百年記念館を会場に、3月9日行われた。

午前中は「打合せ会」が行われ、協議題について討議された。協議題としては、(1)外国雑誌センター館収集活動に関する希望調査について、(2)外国雑誌センター館「文献複写サービスガイド」の作成について、(3)文献複写サービスにおけるファクシミリの利用について、(4)文献複写サービスにおけるファクシミリの利用促進について、(5)1990年新規収集にかかる重複選定タイトルの調整について、協議された。

午後からは、「センター館会議」が開かれた。始めに、文部省学術国際局学術情報課 緒方 課長

より「平成2年度図書館関係予算案の概要」と「学術情報システムの整備(平成2年度)」について説明があり、また、「学術情報流通の拡大方策について(報告)」が披露された。次に、世話館として、東京工業大学附属図書館長の挨拶があった。つづいて、各センター館より、現状、利用の趨勢、平成2年度収集誌選択の方針、課題等について報告され、質疑応答が行われた。最後に、文部省から「外国雑誌センターの運営等について」(1)収集範囲及び購入方法の見直し、(2)利用者サービスの充実について協議題として出され、各館が要望に応えるべく努力することとなった。

(医学分館)

平成元年度病院図書室職員研修会報告

標記研修会が、平成2年3月16日(金)、午後1時30分から5時まで、医学分館AV室を会場に開催された。今回は第5回で、県内10病院から10名の参加を得た。参加者のほとんどは他の業務と図書館業務を兼務しており、お忙しい中参加していただきありがとうございます。

今回のテーマは「病院図書室の整理業務」ということで、初めに、図書館とはどういう所なのかを話し、整理業務についての流れ、そして、とくに雑誌の整理についての概要を説明した。つづい

て質疑応答があり、先にアンケートを実施したまとめをもとに、各館の整理の具体例や、運営の問題等が話しあわれた。

今回、研修会に先立ち、各図書室の現状を把握するため蔵書数・整理業務と職員・施設等についてアンケートを実施し、16病院図書室から回答が得られた。(表参照)

(医学分館)

平成元年度病院図書室統計調査結果報告

(東北大学附属図書館医学分館まとめ：1990年2月実施)

No.	図書室名	蔵書						年間受入冊数					
		単行書			雑誌			単行書			雑誌		
		和書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計	和書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計
01	町立大河原病院図書室	105	30	135	12,500	800	13,300	20	5	25	25	2	27
02	石巻赤十字病院図書室	802	501	1,303	21	33	55	138	9	147	21	38	59
03	河南町矢本町国民健康保健病院組合	382	31	約413	646	79	約725	26	0	26	25	0	25
04	国 立 療 養 所 宮 城 病 院 図 書 室	332	46	378	45	53	98	28	8	36	24	47	71
05	宮 城 野 病 院	133	8	141	18	10	28	60	0	60	32	8	40
(昭61～平元)													
06	西多賀病院図書室	380	374	754	21	11	32	7	10	17	15	8	23
07	坂総合病院図書資料室			12,900	147	41	188	210	15	225	147	41	188
	(製本雑誌を含む)												
08	仙 塩 総 合 病 院	354	20	374	11	7	18	30	0	30	11	7	18
09	仙 台 厚 生 病 院
10	仙 台 オ ー ブ ン 病 院 医 局 図 書 室	300	200	500	30	60	90	5	10	15	20	40	60
11	仙 台 赤 十 字 病 院 医 局 国 書 室	約770	約200	約970	35	34	69	40	17	57	33	35	68
12	仙 台 社 会 保 健 病 院 医 局 国 書 室	2,247	1,011	3,308	20	25	45	188	115	303	62	115	177
13	仙 台 市 立 病 院 中 央 国 書 病 歴 室	7,292	9,692	26,984	62	48	110	133	92	225	34	45	79
14	東北厚生年金病院図書室	1,640	280	80	83	163	
15	公立築館病院図書室	
16	東北公済病院病歴図書室	3,420	685	4,105	98	48	146	103	21	124	56	35	91

No.	設備、職員、資料費							整理業務		
	面積 (m ²)	閲覧 (席)	図書館職員 (名)		図書 購入費 (千円)	雑誌 購入費 (千円)	製本費 (千円)	図書目録カードを作成していますか?	目録カードの配列方法	雑誌受付カードを作成していますか?
			専任	兼任						
01	30.6	3		1	2,000			いいえ		いいえ
02	32	2		2	916	1,311	129	はい (見本あり)	分類別、五十音順	はい(看護誌のみ作成、見本あり)
03	約20	11		4 (業務課職員兼任)	1,750	約750	0	いいえ	五十音順	いいえ
04	39.625	6		1	130	902		いいえ		いいえ
05	19.2	3		1	360	800	120	いいえ		はい (見本あり)
06	10	5		1			3.5	いいえ		いいえ
07	120	6	1	1 (オンライン検索料を含む)	8,000	3,500		はい	その他(分類番号順)	はい(2種類)
08	68.48	33		1	700	980	320	いいえ		いいえ
09	20	4	1	1	いいえ		いいえ (見本あり)
10	20	6~8				1,400		はい (見本あり)	五十音順、アルファベット順	はい(見本あり)
11	54	4		1	約1,250	約2,250	618	いいえ		いいえ
12	54	10		2	8,398	2,513	818	はい	五十音順	はい
13	276.44	4		2 (約7割が雑誌購入費)	4,000		320	はい (見本あり)	その他(分類記号順、NDC)	いいえ
14	36	4		1 (特に決まっていない)				いいえ		はい
15	27	5			約4,000			いいえ		いいえ
16	56	12		1	1,185	2,782	282	はい (見本あり)	その他(NDC分類番号順)	はい (見本あり)

No.	サ 一 ビ ス 業 務			コンピュータの利 用	
	参考業務 (年間件数)	対外文献複写(年間件数)		コンピュータ、パソコン、ワープロを利用していますか?	利用目的(a 閲覧業務 b 図書の発注受入 c 雑誌の発注受入 d 図書目録 e 情報検索 f その他)
		依 賴	受 付		
01	未実施	未実施	未実施	未実施	
02	未実施	未実施	未実施	未実施	
03	未実施	未実施	未実施	未実施	
04	未実施	未実施	未実施	未実施	
05	未実施	未実施	未実施	未実施	
06	未実施	未実施	未実施	未実施	
07	実施 (100以上)	実施(15) (プロバーへの依頼が多い)	実施(5)	実施(専用)	b,c,d,e(JOIS.DIALOG), f(文書管理)
08	未実施	未実施	未実施	未実施	
09	未実施	未実施	未実施	未実施	
10	未実施	未実施	未実施	未実施	
11	未実施	未実施	未実施	未実施	
12	未実施	
13	未実施	未実施	未実施	未実施	
14	実施(6)	実施(2)	実施(共用)	f(文書管理, 雑誌目録)
15	
16	

人　事　異　動

発令年月日	旧官職	氏名	新官職	備考
2.2.28	事務補佐員(情報管理課洋書目録掛)	勝部玲子		退職
"	事務補佐員(情報サービス課閲覧掛)	佐々木美奈		"
3.12		米地晶子	事務補佐員(情報サービス課閲覧掛)	採用
16	総務課学術情報掛長	湯本一義	総務課課長補佐	昇任
31	総務課庶務掛調査統計主任	栗野ゆきゑ		定年退職
"	事務補佐員(情報サービス課相互利用掛)	渡辺香代子		退職
"	事務補佐員(医学分館運用掛)	長田満枝		"
"	事務補佐員(医学分館運用掛)	近藤陽子		"
4.1	事務部長	相良侯秀	九州大学附属図書館事務部長	配置換
"	情報サービス課長	鈴木英夫	庶務部研究協力課長	"
"	総務課課長補佐	湯本一義	図書館情報大学図書館情報課長	昇任
"	情報サービス課閲覧掛長	武田光佳	工学分館整理・運用課長	配置換
"	文部事務官(情報管理課洋書目録掛)	菊地房雄	宮城教育大学附属図書館運用係長	昇任
"	文部事務官(総務課会計掛)	大泉秀則	文部事務官(医学部附属病院医事課給食掛)	配置換
"	岡山大学附属図書館事務部長	矢野光雄	事務部長	"
"	長岡技術科学大学図書課長	鳥屋部順	情報サービス課長	"
"	情報管理課和漢書目録掛長	佐藤定夫	情報管理課図書館専門員	昇任
"	文部事務官(情報管理課和漢書目録掛)	佐藤義則	総務課システム管理掛長	"
"	情報サービス課参考調査掛長	菅野博之	情報管理課和漢書目録情報掛長	配置換
"	情報サービス課書庫掛長	中島甫	情報サービス課閲覧第二掛長	"
"	文部事務官(情報管理課洋書目録掛)	前田裕子	情報管理課洋書目録情報掛長	昇任
"	情報管理課洋書目録掛長	村岡徹	情報サービス課参考調査掛長	配置換
"	工学分館管理掛長	田代寛	情報サービス課閲覧第一掛長	"
"	文部事務官(金属材料研究所総務課図書掛)	藤田優美子	文部事務官(情報管理課洋書目録情報掛)	"
"		小野元子	文部事務官(情報管理課洋書目録情報掛)	採用
"		遠藤美貴子	事務補佐員(農学分館図書掛)	"
"		池田美智子	事務補佐員(医学分館運用掛)	"
"		小松幸子	事務補佐員(医学分館運用掛)	"
4.16	総務課会計掛長	高橋宏知	科学計測研究所用度掛長	配置換
"	応用情報学研究センター総務掛長	斎藤一誠	総務課会計掛長	"
5.1	総務課庶務掛庶務主任	熊沢宏二	経済学部庶務掛庶務主任	"

発令年月日	旧官職	氏名	新官職	備考
5. 1	電気通信研究所総務課庶務掛庶務主任	和泉芳範	総務課庶務掛庶務主任	配置換
"	医学分館総務掛経理主任	土田正	薬学部用度掛用度第二主任	"
"	医学部附属病院医事課医事掛医事主任	尾崎寛昭	医学分館総務掛経理主任	"
"	工学分館整理・運用掛長	川村隆男	工学分館管理掛長	"
"	文部事務官(情報管理課逐次刊行物掛)	塚田弘子	文部事務官(情報サービス課閲覧第二掛)	"
"	事務補佐員(情報管理課洋書目録掛)	菅野篤子	事務補佐員(情報サービス課参考調査掛)	"
"	事務補佐員(農学分館図書掛)	屋代紀子	事務補佐員(情報管理課洋書目録情報掛)	"
"	事務補佐員(情報サービス課閲覧掛)	佐藤和子	事務補佐員(情報管理課受入掛)	"
"	事務補佐員(情報サービス課閲覧掛)	斎藤房江	事務補佐員(情報管理課洋書目録情報掛)	"
"		新井山郁子	事務補佐員(情報サービス課相互利用掛)	採用
7.31	事務補佐員(情報サービス課閲覧第一掛)	高橋竹男		退職

組織変更

平成2年4月1日付で、次のとおり組織変更が行われた。

課名	掛名(旧掛名)
総務課	庶務掛 会計掛 システム管理掛(学術情報掛)
情報管理課	受入掛 和漢書目録情報掛(和漢書目録掛) 洋書目録情報掛(洋書目録掛) 逐次刊行物掛
情報サービス課	参考調査係 閲覧第一掛(閲覧掛) 閲覧第二掛(新設) 相互利用掛

(注) 情報サービス課書庫掛は廃止された。

『投書』の中から

- 返却図書の事務処理並びに端末画面上の書名表示について

(1) 返却図書の事務処理

利用者から、返却した図書がそのまま延滞図書扱いになっていたとの指摘がありました。返却処理は、ハンドスキャナーによる読み取りにより行っておりますが、この処理が十分でなかったものと考えられますので、今後このようなことのないように十分に注意してまいります。

なお、今回のケースとは別ですが、貸出記録が消去されない例として、自ら直接書架に返却したものと思われる事がまま見受けられることがあります。返却の際は必ずカウンターにて手続きして下さい。

(2) 端末画面上の書名表示

返却図書の事務処理に際し、書名が端末画面上に表示されないため、不便であるとの指摘がありました。昭和62年度の電算化以前に受入れた図書については、書誌データが入力されておりませんので、図書に添付されている「ID番号」により貸出・返却業務を行っております。図書館としては、全図書のデータを入力するよう計画をしておりますが、これには膨大な経費と労力を要するため遅延として進まないことから、利用者の皆様には大変不便をお掛けしております。

なお、開架閲覧室にある図書については、昨年度から3か年計画でデータ入力を行っておりますので、多少は利用しやすくなるものと思われますが、全データの入力には相当期間要するものと思われますのでご了承頂きたいと存じます。

編集後記

1・2号合併とし、本年5月7日運用開始した新館特集号にいたしました。新館には雑誌、本館には図書を中心に収蔵し、利用者から見るとこれまで以上に利用しやすい図書館になったものと思われます。本館は、延べ面積がこれまでの約1.5倍と所掌範囲が広くなり、それぞれに充実したサー

ビスが求められますが、年々増加する図書館資料、一方定員削減による要員不足は、益々深刻な問題となっていました。「利用者のための充実した図書館サービスは如何にあるべきか」がこれらの課題として、大いに議論し、改善していくかなければならない重要な問題であると思われます。

東北大学附属図書館報「木道子」 第15巻 第1-2号（通巻第57号） 発行日 平成2年8月31日

編集委員長 菅野博之 編集委員 佐藤義則、佐々木勝義、村岡 徹、湯目昌史

発行人 矢野光雄 発行所 東北大学附属図書館 仙台市青葉区川内 電話 代表 222-1800(2403)